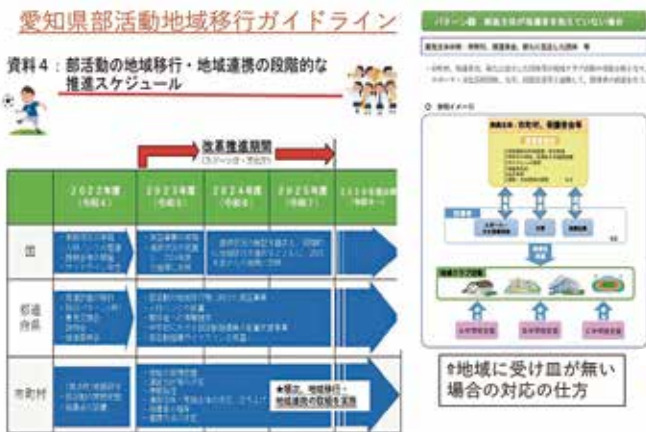


中学統廃合 生徒への配慮は

中村 文武議員



事前交流、クラス編成、合同部活で配慮
教育部長



▲自治体や保護者が組織する部活動イメージ

問 中学校の統廃合はやむを得ないが、大規模校に通学する生徒、特に、中3の心の変化は心配だ。いじめ、クラスになじめない等への配慮は。

答 学校再編に対し、新しい集団になじめるかなどの心配や不安は認識している。学校間の事前交流やクラス編成における再編前の生徒数バランスに対する配慮、部活動合同実習などに取り組む。

問 なぜ今統合を進めるのか。

答 教科専門の正規教員を配置できる、効果的な学びの展開が期待できる、社会性を育む機会を設けるといふ3点に大きな効果が期待できる。小規模校では、8人で授業を受け持つ。各科目に正規教員がそろわない可能性がある。また、各科目を一人の教員が担い、相談や情報交換する相手が少な

くなる。学習を効果的、効率的に進めるために、中学校では各学年複数学級となる規模適正化が必要。

問 新団体を設立する仕組みを全員に周知は可能か。

答 地域移行の方針や進め方を周知する際に、部活動を維持・継続する手法を周知することは可能。

問 地域への教育的意義の引継ぎや多様な環境整備はどうするのか。

答 持続可能な体制づくりとして、若い指導者、保護者コーチの確保など、人材確保のお願いとともに支援をしていきたい。

問 地域移行は、学校ごとで差があるのか、一律に進めるのか。

答 土口の学校部活動に関し、学校や部活動の種目により時期に差が生じることが考えていない。

問 部活が先に廃止され、地域に受け皿がない場合、ガイドラインではどうするか。県の考えは。

答 県からの通知はない。保護者や地域の協力者により組織された団体が指導者を確認し、活動をしている自治体などの例もある。

問 部活が先に廃止され、地域に受け皿がない場合、ガイドラインではどうするか。県の考えは。

答 県からの通知はない。保護者や地域の協力者により組織された団体が指導者を確認し、活動をしている自治体などの例もある。

問 地域への教育的意義の引継ぎや多様な環境整備はどうするのか。

答 持続可能な体制づくりとして、若い指導者、保護者コーチの確保など、人材確保のお願いとともに支援をしていきたい。

問 中小体連の種目に無い地域スポーツクラブも含め、中学生や保護者が安心して預けられる受け皿の整備が必須と考えている。生徒や保護者が戸惑わないよう対応していく。